



## 電気工事交流会を行いました！

### 社会人講師による実践指導—第二種電気工事士技能試験に向けて

1月23日(木)、鳥取県電気工事業工業組合の社会人講師の方々をお招きし、電気工事業界理解促進交流研修会が行われました。研修は最初に電気工事のビデオを視聴し、その後は第二種電気工事士技能試験にむけて候補問題を活用し、技術指導を行っていただきました。第二種電気工事士は実務に必要な技術や知識が問われる重要な資格試験であり、生徒たちにとって大きな挑戦です。

### 実践に即した指導でスキルアップ

社会人講師の方々には、実際の現場経験をもとに、試験のポイントや効率的な作業方法を丁寧に指導していただきました。例えば、電線の被覆を剥く際のコツや、接続部の仕上げ方など、細かな技術の一つひとつ実演しながら説明。その手際の良さに、生徒たちは息をのむ場面もありました。

指導を受ける生徒たちの表情は真剣そのもの。限られた時間の中で少しでも多くの技術を吸収しようと、講師の手元を食い入るように見つめたり、メモを取ったりする姿が印象的でした。

また、実技演習では、講師のアドバイスを受けながら何度も繰り返し練習し、確実に技術を自分のものにしようとする強い意志が感じられました。

### 主体的に学び、成長する姿

この特別授業では、生徒たちが「教えられる」だけでなく、「自ら学ぶ」姿勢を大切にしている様子が見られました。講師の説明が終わると、すぐに「この作業はこうでいいの？」「別の方法も試してみよう」と、仲間同士で確認しながら進めていました。分からないことがあればすぐに質問し、自分の手で確かめながら学ぶ姿勢は、まさに主体的な学びそのものでした。

また、試験本番を想定し、限られた時間内で正確に作業を終わらせることを意識しながら取り組む姿勢も印象的でした。試験では、一つのミスが合否を左右することもあるため、生徒たちは常に緊張感を持ちつつ、慎重かつスピーディーに作業を進めていました。

### 試験合格に向けて、残りの時間を大切に

今回の社会人講師の指導を通じて、生徒たちは確かな成長を実感できたはずですよ。「1人でも多く合格できるように、これからの学習時間を大切にしていきたい」という言葉が生徒からありました。

この学びを活かし、最後まで努力を重ねていきたいと思います。電業協会の皆様、貴重なご指導をありがとうございました。

生徒たちは、今後も様々な資格取得に向けてこれからも挑戦し続けます！

